

令和元年度

とかち広域消防事務組合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

とかち広域消防事務組合監査委員

十 消 監 査 第 2 1 号
令和 2 年 1 0 月 2 2 日

と ち ち 広 域 消 防 事 務 組 合
組 合 長 米 沢 則 寿 様

と ち ち 広 域 消 防 事 務 組 合
監 査 委 員 林 伸 英
監 査 委 員 寺 林 俊 幸

令 和 元 年 度 と ち ち 広 域 消 防 事 務 組 合 一 般 会 計 歳 入 歳 出 決 算 の 審 査 意 見 に つ い て

地 方 自 治 法 第 2 3 3 条 第 2 項 の 規 定 に よ り 審 査 に 付 さ れ た 令 和 元 年 度 と ち ち 広 域 消 防 事 務 組 合 一 般 会 計 歳 入 歳 出 決 算 を 審 査 し た の で 、 別 紙 の と お り 意 見 を 提 出 し ま す 。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の基本	1
第4	審査の結果	1

(決算の概要及び意見)

1	決算収支の概要	2
2	予算の執行状況	2
(1)	歳入歳出決算の状況	2
ア	歳入	2
イ	歳出	2
(2)	消防費及び消防施設費の予算執行状況	3
ア	消防費	3
イ	消防施設費	4
(3)	予算対比増減の状況	5
ア	歳入	5
イ	歳出	5
(4)	前年度対比増減の状況	6
ア	歳入	6
イ	歳出	6
(5)	性質別歳出の状況	7
(6)	分担金分賦の状況	7
3	債務負担行為及び組合債の状況	8
(1)	債務負担行為	8
(2)	組合債	8
4	財産の状況	9
(1)	公有財産の状況	9
ア	土地及び建物	9
イ	工作物	9
(2)	物品の状況	9
5	意見	10

(参考資料)

1	分担金分賦状況調	12
2	火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況	13

令和元年度とかけ広域消防事務組合一般会計決算審査意見

第1 審査の対象

令和元年度とかけ広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和2年8月19日から令和2年10月16日まで

第3 審査の基本

決算審査に当たっては、とかけ広域消防事務組合監査基準に準拠し、審査に付された一般会計歳入歳出決算書（以下、「決算書」という。）並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下、「決算附属書類」という。）について、

- 1 予算執行・財務処理の適法性、妥当性
- 2 計数の正確性
- 3 財政運営の健全性

の確認を基本とし、審査の重点を次の事項においた。

- (1) 予算執行状況
- (2) 繰越金の状況
- (3) 性質別歳出の状況
- (4) 分担金分賦の状況
- (5) 予備費充用及び予算流用の状況
- (6) 財産の異動及び増減の状況
- (7) 債務の状況と将来の財政負担（債務負担行為、組合債）
- (8) 決算書及び決算附属書類の法令準拠並びに計数の確認

第4 審査の結果

- 1 令和元年度決算書並びに決算附属書類は、関係法令に準拠して調製され、表示された計数は関係帳簿等と照合等の結果、適正であると認められた。
また、予算の執行については、別に実施した定期監査等において既に報告のとおり、全体を通して適正に執行されているものと認められた。
- 2 現金預金については、地方自治法第235条の2第1項に定める例月出納検査において報告のとおり、その残高を確認した。
- 3 決算の概要及び意見については、次のとおりである。

(注)

- 1 文中に用いる金額は、原則として各計数値ごとに千円単位（千円未満は四捨五入）で表示した。ただし、表中では円単位で表示した。このため、総数とその内訳の合計等が符号しない場合がある。
- 2 比率は、原則として小数点第1位で表示（単位未満は四捨五入）し、「0.0」と表示したものは、該当値はあるが単位未満のもの、「-」と表示したものは、該当値がないものである。

決算の概要及び意見

1 決算収支の概要

令和元年度における一般会計の決算額は、歳入 6,944,232 千円に対し、歳出は 6,740,153 千円で、形式収支は 204,079 千円の黒字であり、形式収支から継続費繰越等翌年度へ繰り越すべき財源 1,934 千円を差し引いた実質収支においても 202,145 千円の黒字となった。

(単位:円)

区分 会計	歳入 A	歳出 B	差引額 (形式収支) C = A - B	翌年度 繰越財源 D	実質収支 C - D
一般会計	6,944,231,852	6,740,152,942	204,078,910	1,933,960	202,144,950
合計	6,944,231,852	6,740,152,942	204,078,910	1,933,960	202,144,950

2 予算の執行状況

(1) 歳入歳出決算の状況

ア 歳入

歳入決算状況は、予算現額 6,877,406 千円に対し、決算額は、6,944,232 千円で、執行率は 101.0%となり、66,826 千円増加した。

また、不納欠損額及び収入未済額は生じていなかった。

なお、歳入科目別決算状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

科目	区分	予算現額 A	決算額 B	増△減額 B - A	執行率 B / A × 100
分担金及び負担金		6,127,264,000	6,127,264,000	0	100.0
使用料及び手数料		2,919,000	4,282,150	1,363,150	146.7
国庫支出金		14,460,000	14,425,000	△ 35,000	99.8
繰越金		69,519,000	134,679,790	65,160,790	193.7
諸収入		62,244,000	62,780,912	536,912	100.9
組合債		601,000,000	600,800,000	△ 200,000	100.0
合計		6,877,406,000	6,944,231,852	66,825,852	101.0

イ 歳出

歳出決算状況は、予算現額 6,877,406 千円に対し、決算額は、6,740,153 千円で、執行率は 98.0%となり、135,319 千円の不用額が生じた。

また、継続費繰越及び事故繰越しにより、1,934 千円を翌年度へ繰り越した。

なお、各会計の歳出科目別決算状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

科目	区分	予算現額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A - B - C	執行率 B / A × 100
議会費		904,000	867,390	0	36,610	96.0
総務費		21,131,000	20,613,309	0	517,691	97.6
消防費		579,341,000	534,467,281	1,933,800	42,939,919	92.3
消防施設費		721,628,000	713,650,466	160	7,977,374	98.9
公債費		30,978,000	30,653,089	0	324,911	99.0
職員費		5,521,424,000	5,439,901,407	0	81,522,593	98.5
予備費		2,000,000	0	0	2,000,000	0.0
合計		6,877,406,000	6,740,152,942	1,933,960	135,319,098	98.0

(2) 消防費及び消防施設費の予算執行状況

ア 消防費

決算額は、534,467千円で、前年度と比較して3,094千円、0.6%減少した。

予算執行の主な内容は、指令センター費111,424千円、帯広消防署費100,521千円及び音更消防署費38,064千円である。

予算執行の内容を節別に見ると、主なものは、需用費240,151千円、委託料122,259千円及び役務費75,001千円である。

また、予算現額に対する執行率は92.3%で、42,940千円の不用額が生じた。

なお、科目ごとの予算執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A× 100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 増△減 B-D
消防局費	6,054,000	5,207,295	86.0		846,705	11,438,245	△ 6,230,950
指令センター費	112,309,000	111,424,209	99.2		884,791	102,504,091	8,920,118
帯広消防署費	105,169,000	100,521,343	95.6	1,710,500	2,937,157	98,658,268	1,863,075
音更消防署費	42,530,000	38,063,581	89.5		4,466,419	39,797,827	△ 1,734,246
士幌消防署費	17,813,000	15,227,637	85.5		2,585,363	16,271,153	△ 1,043,516
上士幌消防署費	12,524,000	10,476,990	83.7		2,047,010	11,270,789	△ 793,799
鹿追消防署費	14,043,000	13,177,174	93.8		865,826	12,501,798	675,376
新得消防署費	17,290,000	16,166,904	93.5		1,123,096	13,158,980	3,007,924
清水消防署費	28,866,000	26,001,210	90.1		2,864,790	24,575,388	1,425,822
芽室消防署費	35,027,000	31,668,626	90.4		3,358,374	33,969,705	△ 2,301,079
中札内消防署費	11,248,000	10,232,541	91.0		1,015,459	15,097,825	△ 4,865,284
更別消防署費	11,113,000	9,841,943	88.6		1,271,057	9,357,284	484,659
大樹消防署費	15,606,000	14,095,315	90.3		1,510,685	14,580,602	△ 485,287
広尾消防署費	18,844,000	17,587,009	93.3		1,256,991	18,461,030	△ 874,021
幕別消防署費	31,094,000	29,264,440	94.1		1,829,560	29,109,026	155,414
池田消防署費	16,532,000	14,311,880	86.6		2,220,120	12,927,558	1,384,322
豊頃消防署費	17,392,000	14,142,124	81.3		3,249,876	15,457,102	△ 1,314,978
本別消防署費	13,342,000	11,740,780	88.0		1,601,220	10,888,931	851,849
足寄消防署費	19,160,000	16,404,815	85.6		2,755,185	16,476,818	△ 72,003
陸別消防署費	14,607,000	12,542,380	85.9		2,064,620	13,918,984	△ 1,376,604
浦幌消防署費	18,778,000	16,369,085	87.2	223,300	2,185,615	17,140,328	△ 771,243
合 計	579,341,000	534,467,281	92.3	1,933,800	42,939,919	537,561,732	△ 3,094,451

イ 消防施設費

決算額は、713,650千円で、前年度と比較して503,374千円、239.4%増加した。

予算執行の主な内容は、帯広消防施設費394,669千円、音更消防施設費121,805千円及び芽室消防施設費105,730千円である。

主な整備内容は、帯広消防施設費の柏林台出張所建築主体工事394,388千円、音更消防施設費の救助工作車更新119,680千円及び芽室消防施設費の救助工作車更新98,120千円である。

また、予算現額に対する執行率は98.9%で、7,977千円の不用額が生じた。

なお、科目ごとの予算執行状況及び主な整備内容は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A× 100	翌年度 繰越額 C	不 用 額 A-B-C	前 年 度 決 算 額 D	対前年度 増△減 B-D	主 な 整 備 内 容
帯広消防施設費	394,675,000	394,669,307	100.0	160	5,533	29,158,757	365,510,550	柏林台出張所建築主体工事
音更消防施設費	122,331,000	121,804,540	99.6	0	526,460	782,750	121,021,790	救助工作車更新
士幌消防施設費	715,000	587,263	82.1	0	127,737	488,716	98,547	
上士幌消防施設費	6,752,000	5,101,087	75.5	0	1,650,913	36,214,491	△ 31,113,404	救急訓練用人形購入
鹿追消防施設費	154,000	152,584	99.1	0	1,416	273,654	△ 121,070	
新得消防施設費	7,696,000	6,506,502	84.5	0	1,189,498	38,352,392	△ 31,845,890	広報車更新
清水消防施設費	354,000	62,838	17.8	0	291,162	508,720	△ 445,882	
芽室消防施設費	106,132,000	105,730,350	99.6	0	401,650	10,858,324	94,872,026	救助工作車・広報車更新
中札内消防施設費	3,985,000	3,403,968	85.4	0	581,032	32,400	3,371,568	自動体外式除細動器購入
更別消防施設費	50,000	0	0.0	0	50,000	0	0	
大樹消防施設費	47,356,000	45,942,180	97.0	0	1,413,820	-	45,942,180	災害対応特殊救急自動車更新
広尾消防施設費	100,000	0	0.0	0	100,000	0	0	
幕別消防施設費	9,618,000	9,362,080	97.3	0	255,920	3,224,830	6,137,250	札内支署車庫屋上防水工事
池田消防施設費	5,000	1,341	26.8	0	3,659	3,056,400	△ 3,055,059	
豊頃消防施設費	50,000	0	0.0	0	50,000	0	0	
本別消防施設費	3,242,000	3,241,215	100.0	0	785	72,877,082	△ 69,635,867	
足寄消防施設費	16,097,000	14,845,680	92.2	0	1,251,320	-	14,845,680	自動式人工呼吸器・救助用資機材一式購入
陸別消防施設費	2,316,000	2,239,531	96.7	0	76,469	11,423,989	△ 9,184,458	庁舎トイレ改修工事
浦幌消防施設費	-	-	-	-	-	3,024,000	△ 3,024,000	
合 計	721,628,000	713,650,466	98.9	160	7,977,374	210,276,505	503,373,961	

(3) 予算対比増減の状況

ア 歳入

予算執行の結果、予算額に対して 500 万円以上の増減が生じた科目は、次表のとおりである。

<500万円以上の増減が生じたもの>

(単位:円)

科目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B-A	主な増△減理由
繰越金 繰越金	69,519,000	134,679,790	65,160,790	前年度繰越金の増

また、予算額に対して 100 万円以上の増加となったものは 2 件、66,524 千円であり、減少となったものはなかった。

なお、100 万円以上の増減が生じたものの年度別対比は、次表のとおりである。

<100万円以上の増減が生じたものの件数及び金額>

(単位:件・円)

区分	年度	令和元年度		平成30年度		増△減	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
予算対比増		2	66,523,940	2	26,751,265	0	39,772,675
予算対比減		0	0	1	1,100,000	△ 1	△ 1,100,000

イ 歳出

予算執行の結果、予算額に対して 500 万円以上の増減が生じた科目は、次表のとおりである。

<500万円以上の増減が生じたもの>

(単位:円)

科目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B-A	主な増△減理由
職員費 職員給与費	5,521,424,000	5,439,901,407	△ 81,522,593	職員構成の変動による減

また、予算額に対して 100 万円以上の増加となったものはなく、減少したものは 23 件で 129,305 千円である。

なお、100 万円以上の増減が生じたものの年度別対比は、次表のとおりである。

<100万円以上の増減が生じたものの件数及び金額>

(単位:件・円)

区分	年度	令和元年度		平成30年度		増△減	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
予算対比増		0	0	0	0	0	0
予算対比減		23	129,304,541	19	99,734,256	4	29,570,285

(4) 前年度対比増減の状況

ア 歳入

歳入決算額は6,944,232千円で、前年度と比較して819,071千円、13.4%増加した。

これは主として、起債対象事業の増により組合債が537,500千円、職員費の増などにより分担金及び負担金が272,428千円増加したことによるものである。

なお、歳入科目別前年度対比増減状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

科目	年度	令和元年度 A	平成30年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
分担金及び負担金		6,127,264,000	5,854,836,000	272,428,000	4.7
使用料及び手数料		4,282,150	4,889,300	△ 607,150	△ 12.4
国庫支出金		14,425,000	28,934,000	△ 14,509,000	△ 50.1
繰越金		134,679,790	143,941,965	△ 9,262,175	△ 6.4
諸収入		62,780,912	29,259,903	33,521,009	114.6
組合債		600,800,000	63,300,000	537,500,000	849.1
合計		6,944,231,852	6,125,161,168	819,070,684	13.4

イ 歳出

歳出決算額は6,740,153千円で、前年度と比較して749,672千円、12.5%増加した。

これは主として、帯広消防署の柏林台出張所建築主体工事に係る工事請負費の増などにより消防施設費が503,374千円、職員数の増などにより職員費が247,903千円増加したことによるものである。

なお、歳出科目別前年度対比増減状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

科目	年度	令和元年度 A	平成30年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
議会費		867,390	877,080	△ 9,690	△ 1.1
総務費		20,613,309	19,704,312	908,997	4.6
消防費		534,467,281	537,561,732	△ 3,094,451	△ 0.6
消防施設費		713,650,466	210,276,505	503,373,961	239.4
公債費		30,653,089	30,062,897	590,192	2.0
職員費		5,439,901,407	5,191,998,852	247,902,555	4.8
合計		6,740,152,942	5,990,481,378	749,671,564	12.5

(5) 性質別歳出の状況

歳出決算状況について、これを性質別にみると、義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）は3,923,337千円で、前年度と比較して133,437千円、3.5%増加した一方で、決算額に占める比率は、前年度より5.1ポイント低下し58.2%となった。

これは主として、人件費の増による義務的経費の増加よりも、投資的経費が増加し、歳出全体も増加したことから、決算額に占める義務的経費の割合が低下したものである。

義務的経費以外では、物件費が前年度と比較して39,338千円、7.2%減少した一方で、帯広消防署の柏林台出張所建築主体工事等により、投資的経費が前年度と比較して525,857千円、289.4%増加した。

なお、性質別経費の前年度対比状況は、次表のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	令和元年度		平成30年度		対前年度増△減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	金額	率
義務的経費	3,923,336,905	58.2	3,789,899,828	63.3	133,437,077	3.5
人件費	3,839,373,816	57.0	3,708,021,931	61.9	131,351,885	3.5
扶助費	53,310,000	0.8	51,815,000	0.9	1,495,000	2.9
公債費	30,653,089	0.4	30,062,897	0.5	590,192	2.0
物件費	503,415,297	7.5	542,753,424	9.1	△ 39,338,127	△ 7.2
維持補修費	10,588,367	0.1	2,381,589	0.0	8,206,778	344.6
補助費等	1,595,220,518	23.7	1,473,712,045	24.6	121,508,473	8.2
投資的経費	707,591,855	10.5	181,734,492	3.0	525,857,363	289.4
合計	6,740,152,942	100.0	5,990,481,378	100.0	749,671,564	12.5

(6) 分担金分賦の状況

構成市町村からの分担金は、共通経費（消防局・組合職員人件費等）が669,029千円、各消防署の個別経費（消防費、消防施設費、消防署職員人件費等）が5,458,235千円で、合わせて6,127,264千円となり、前年度5,854,836千円に対して272,428千円、4.7%増加した。

3 債務負担行為及び組合債の状況

(1) 債務負担行為

債務負担行為の決算年度末残高は 56,914 千円で、前年度末と比較して 27,759 千円、95.2%増加した。

決算年度に新規設定されたものは、帯広消防署の屈折はしご車に係る整備部品の購入 30,067 千円、幕別消防署の清掃業務委託 4,752 千円、池田消防署の電話交換システムの導入 1,894 千円及び土幌消防署のLED照明貸借事業 848 千円である。

なお、債務負担行為の状況については、次表のとおりである。

(単位:円)

区分	年度 平成30年度末 残 高	令 和 元 年 度		令和元年度末 残 高	対前年度 増 △ 減
		新規及び 変 更	解 消		
清掃業務委託(音更消防署)	7,600,176	104,616	3,834,332	3,870,460	△ 3,729,716
庁舎用電話機器貸借事業(芽室消防署)	170,940		170,940	0	△ 170,940
清掃業務委託(帯広消防署)	8,424,147	130,387	2,791,958	5,762,576	△ 2,661,571
北海道市町村備荒資金組合防災資 機材の譲渡代金(本別消防署)	12,960,000		3,240,000	9,720,000	△ 3,240,000
北海道市町村備荒資金組合防災資 機材の譲渡代金(帯広消防署)		30,066,643		30,066,643	30,066,643
LED照明貸借事業(土幌消防署)		848,232		848,232	848,232
北海道市町村備荒資金組合防災資 機材の譲渡代金(池田消防署)		1,894,249		1,894,249	1,894,249
清掃業務委託(幕別消防署)		4,752,000		4,752,000	4,752,000
合 計	29,155,263	37,796,127	10,037,230	56,914,160	27,758,897

(2) 組合債

組合債の決算年度末残高 827,928 千円となり、前年度末と比較して 570,495 千円、221.6%増加した。

決算年度に借入れを行ったものは、帯広消防署の消防出張所整備事業 394,300 千円、音更消防署の救助工作車Ⅱ型整備事業 116,900 千円及び芽室消防署の救助工作車Ⅱ型整備事業 89,600 千円である。

なお、組合債の借入状況については、次表のとおりである。

(単位:円)

区分	年度 平成30年度末 残 高	令 和 元 年 度		令和元年度末 残 高	対前年度 増 △ 減
		借 入	償 還		
帯 広 消 防 署	87,903,015	394,300,000	20,438,995	461,764,020	373,861,005
音 更 消 防 署	49,330,000	116,900,000	9,866,000	156,364,000	107,034,000
清 水 消 防 署	26,000,000	0	0	26,000,000	0
芽 室 消 防 署	-	89,600,000	0	89,600,000	89,600,000
大 樹 消 防 署	34,800,000	0	0	34,800,000	0
広 尾 消 防 署	21,700,000	0	0	21,700,000	0
本 別 消 防 署	37,700,000	0	0	37,700,000	0
合 計	257,433,015	600,800,000	30,304,995	827,928,020	570,495,005

4 財産の状況

(1) 公有財産の状況

ア 土地及び建物

土地及び建物については、決算年度中の増減はなかった。

イ 工作物

工作物に係る台帳登録価格については、とちぎ広域消防事務組合運営に関する条例第8条第2項により準用する帯広市公有財産規則第62条第1項の規定による3年ごとの評定価格の見直しを行ったことにより、前年度末と比較して947,408千円減少した。

(2) 物品の状況

物品については、消防車両等の更新や救助用資機材等の購入により、決算年度末現在高は70台となった。

なお、財産の決算年度中の増減状況は、次表のとおりである。

区分	種類	単位	平成30年度末 現在高	令和元年度中増△減高			令和元年度末 現在高
				増加	減少	増△減	
公有財産	土地	㎡	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	建物	㎡	117.07	0.00	0.00	0.00	117.07
	工作物	円	2,931,374,466	0	947,408,016	△ 947,408,016	1,983,966,450
物品		台	60	11	1	10	70

5 意見

令和元年度の一般会計決算について審査した結果、予算執行及び財務処理の適法性並びに計数の正確性は適正であることを確認しました。

事業運営につきましては、消防出張所等の整備事業をはじめ、組合設立後初めて消防用水の確保に関する協定を締結されたことは、大規模火災や災害時の同時多発火災への対応に効果を発揮するものと考えます。

また、昨年浦幌町で発生した多重衝突事故への対応において、近隣の7消防署による迅速な救助活動が行われたことは、消防署間の連携が広域化により強化された結果であるものと評価いたします。

今後とも、コロナ禍における住民の安心・安全な暮らしを支えていくため、引き続き広域化のメリットを発揮され、消防力を機動的かつ効果的に活用されますよう期待いたします。

参 考 资 料

1 分担金分賦状況調

(単位:円)

市町村	区分	共通経費	個別経費	各市町村 分担金合計
帯 広 市		294,693,000	1,450,016,000	1,744,709,000
音 更 町		63,367,000	473,841,000	537,208,000
士 幌 町		14,971,000	168,542,000	183,513,000
上 士 幌 町		15,125,000	163,067,000	178,192,000
鹿 追 町		14,146,000	152,861,000	167,007,000
新 得 町		17,028,000	195,737,000	212,765,000
清 水 町		21,669,000	294,486,000	316,155,000
芽 室 町		31,831,000	312,542,000	344,373,000
中 札 内 村		11,922,000	140,871,000	152,793,000
更 別 村		11,608,000	149,361,000	160,969,000
大 樹 町		15,146,000	207,385,000	222,531,000
広 尾 町		18,447,000	214,964,000	233,411,000
幕 別 町		44,793,000	515,075,000	559,868,000
池 田 町		17,945,000	163,778,000	181,723,000
豊 頃 町		13,290,000	155,985,000	169,275,000
本 別 町		16,593,000	194,015,000	210,608,000
足 寄 町		17,123,000	215,031,000	232,154,000
陸 別 町		10,686,000	141,626,000	152,312,000
浦 幌 町		18,646,000	149,052,000	167,698,000
合 計		669,029,000	5,458,235,000	6,127,264,000

【説明】

- ・共通経費の主なものは、消防局・組合職員の職員費及び指令センター費である。
- ・指令センター費は、消防デジタル無線及び指令センター整備費を人口等による負担割合により算出している。
- ・個別経費は、消防署の職員費及び各消防署が執行する消防署費、消防施設費等の経費である。

2 火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況

(単位:件・人)

市町村(消防署)	区分	火災等 出動件数	救急出動・搬送状況		消防指令件数 (発生市町村)
			出動件数	搬送人数	
帯 広 市		385	7,801	6,805	8,297
音 更 町		80	1,597	1,495	1,800
士 幌 町		21	298	283	310
上 士 幌 町		18	259	248	288
鹿 追 町		11	217	204	217
新 得 町		14	253	249	292
清 水 町		45	361	342	432
芽 室 町		57	722	737	796
中 札 内 村		9	163	153	142
更 別 村		15	125	126	160
大 樹 町		25	258	244	299
広 尾 町		16	344	317	381
幕 別 町		65	1,232	1,177	1,263
池 田 町		15	353	335	367
豊 頃 町		17	137	128	173
本 別 町		15	416	403	435
足 寄 町		16	402	389	427
陸 別 町		13	129	125	144
浦 幌 町		14	175	163	203
管 外 出 動		-	-	-	4
合 計		851	15,242	13,923	16,430

※ 火災等出動件数、救急出動・搬送件数は、「令和元年版 消防年報」の数値によるため、平成31年1月1日から令和元年12月31日の数値である。

※ 消防指令件数のうち、市町村の区域を超えた指令件数は、714件である。